

## • 既存のつながりはあるが、もっと可能性が広がりそうなケース

例：介護予防活動が功を奏してからだも心も元気になったAさん。  
いろいろな場面で活躍できるが、そういった地域に活躍の場が少ない。  
地域活動支援センターでのボランティアや、子ども食堂でのボランティアなどの  
つながりを強化していけば、より活躍の場を増やし・広げていけそうである。  
⇒ さまざまな分野・主体と協議し、活躍の場を作っていきたい

## • 緊急性を要するケース

例：セルフネグレクトの状況にあり、低栄養状態で民生委員に発見されたBさん。  
民生委員からの情報提供を受けて包括センターが訪問したところ、  
長女は県外在住で疎遠、同居の長男はうつ症状が強く（妻は死別）、  
孫娘は重度の知的障害であり、緊急的に複合的な支援が必要な状況であった。  
⇒ 多機関が協働しての世帯支援を適切・迅速に展開したい

## • 既存のつながりはないが、あればよいと思うケース

例：C市における分野を超えた共通課題として、銀行が少ない（通えない）、  
消費者被害の増加など、金融にまつわるテーマが見えてきている。  
⇒ 行政と銀行等の金融機関との連携は未開拓分野であるが、  
いずれはフィンテックサービスの創出や、ITリテラシー向上講座、  
或いは消費者被害防止のための住民教室などを共催していけると良い

## 目的：

各分野でつながっているネットワーク等に違いがあることを整理・可視化する。  
庁内関係者間で新たなつながりやすらなるつながりの強化を図る。

## ワークで検討すること：

課題を2つの視点から捉えた上で、我がまちの人や資源のつながりをイメージする

- (縦軸) ・個人や地域の可能性を広げるための人・資源
- ・個人のいのちや尊厳に関わる人・資源

- (横軸) ・必要となる人や資源とのつながり (適切な支援や連携に向けたつながりの強さ)

## 実施方法：

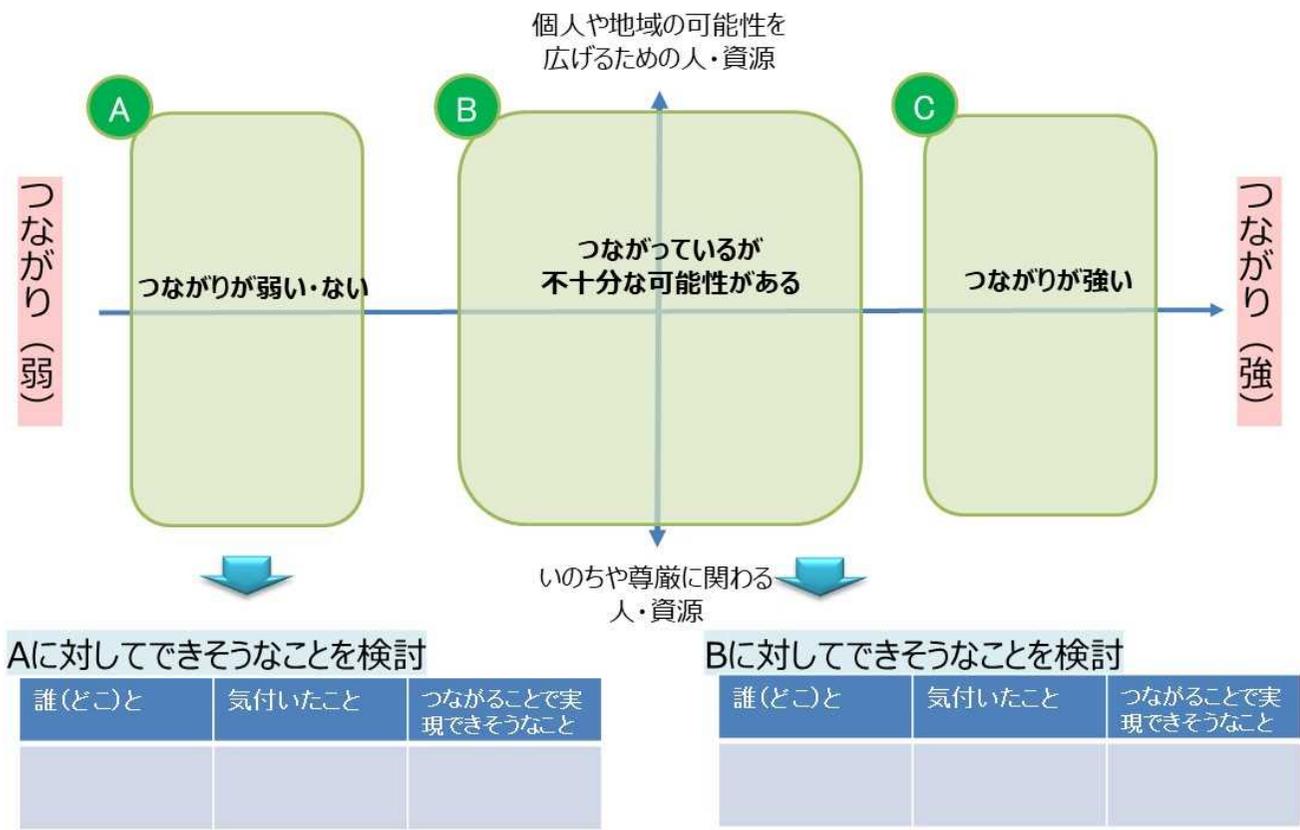
ワークシートを印刷し、想定されるケースに関わる (あるいは関わられる可能性がある) 市町村内の「人や資源」について、付箋や手書きメモ等で書き込む

## お願い事項：\* ペンの色や付箋等での工夫

- ・「既存の人・地域資源」「つながるとよい/あるとよい人・地域資源」ごとに色分け
- ・「参加者の領域(分野)」を付箋に記載

① つながり先の違い、つながり度合いの違い、つながりに対する認識の違い  
上記を見える化し、新しい可能性に気づく

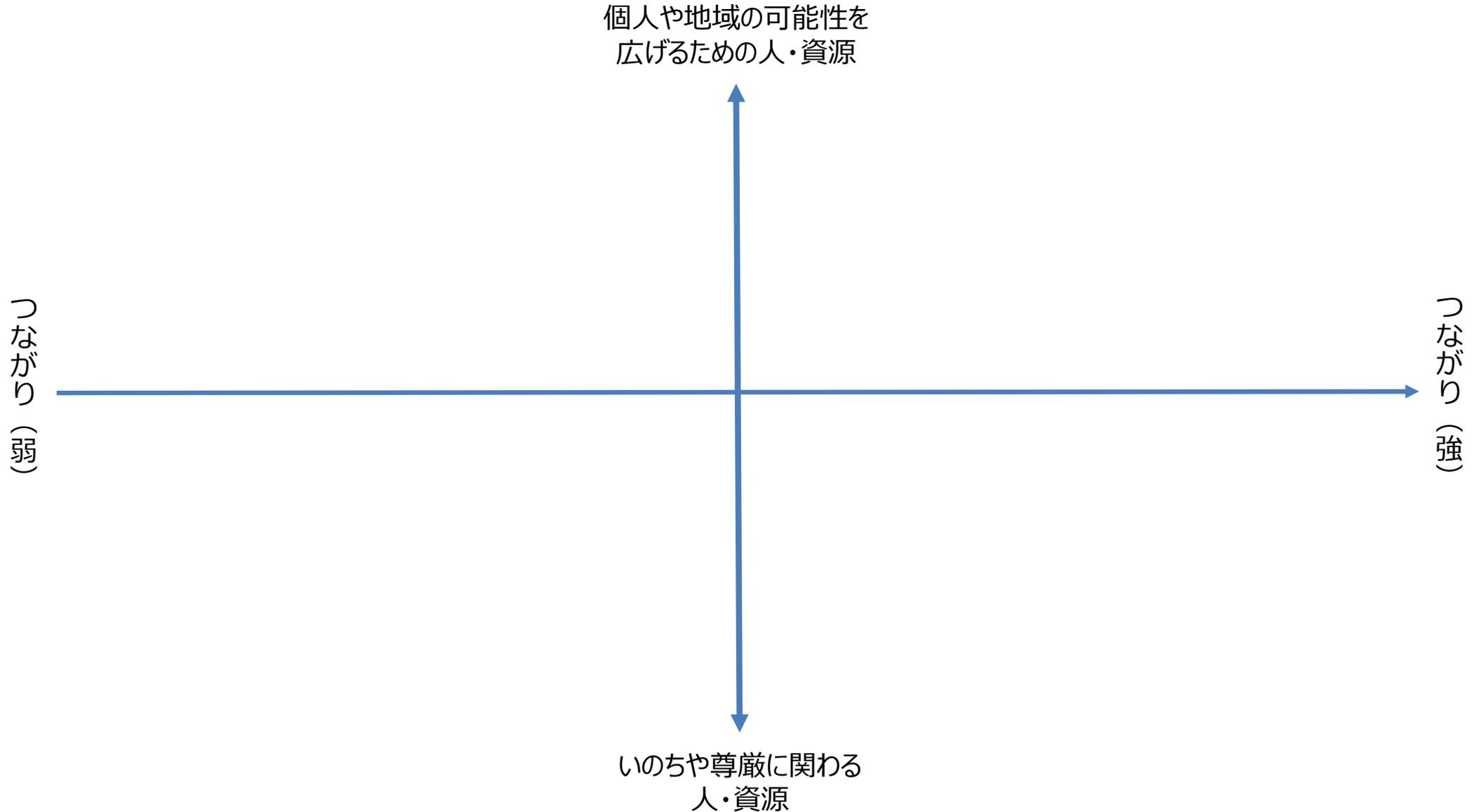
② ①を踏まえ、重層チームとして、優先的につながりたい・つながりを強化したい先を設定し、そのための手立てを検討する



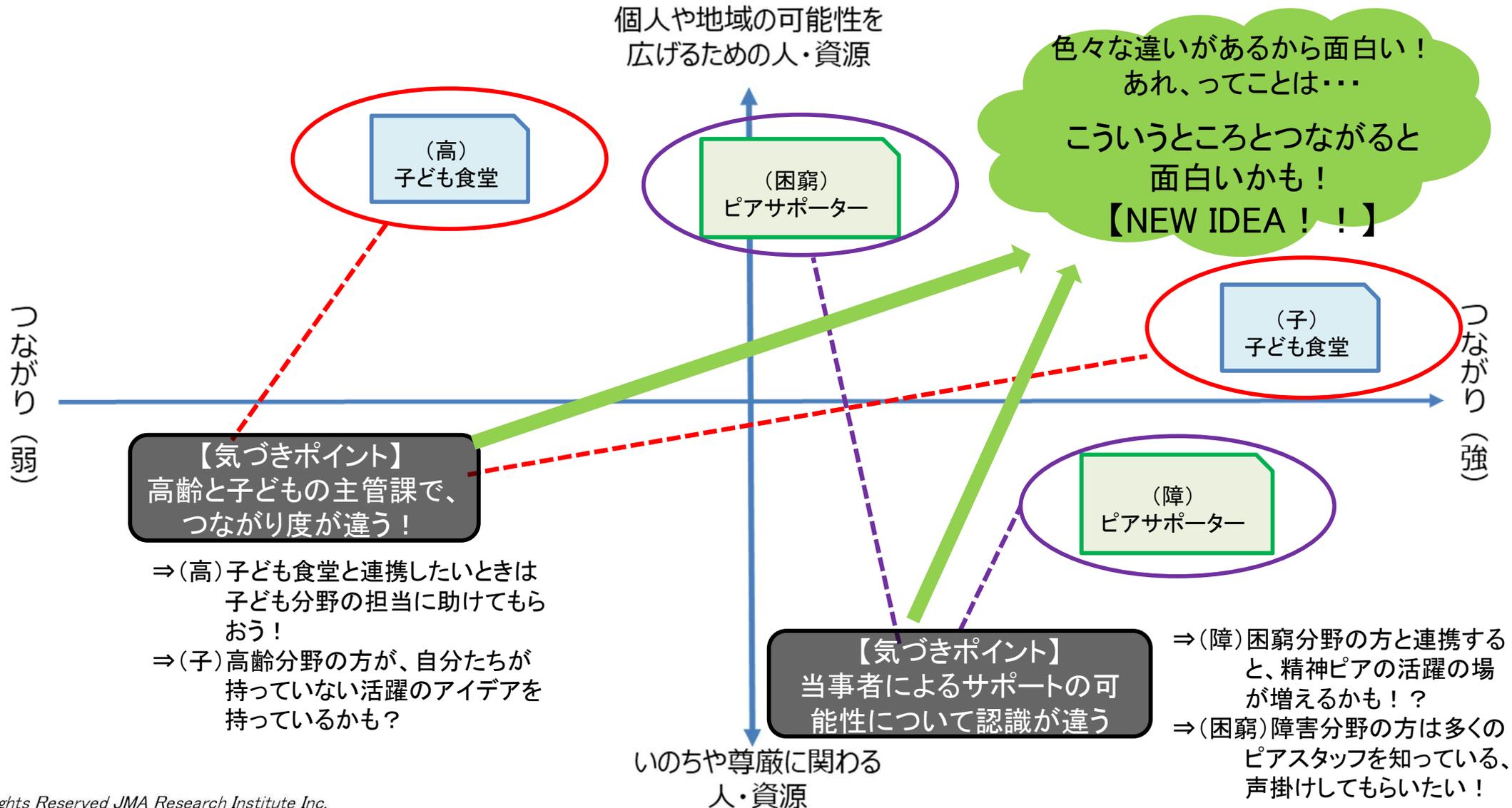
# ライブ研修：我がまちのつながり妄想イメージワークシート①

課題を2つの視点から捉えた上で、我がまちの人や資源のつながりをイメージする

- (縦軸) ・個人や地域の可能性を広げるための人・資源や対象者
- ・個人のいのちや尊厳に関わる人・資源や対象者
- (横軸) ・必要となる人や資源とのつながり (適切な支援や連携に向けたつながりの強さ)



介護予防活動が功を奏してからだもこころも元気になったAさん。  
 いろいろな場面で活躍できるが、そういった地域に活躍の場が少ない。  
 地域活動支援センターでのボランティアや、子ども食堂でのボランティアなどとのつながりを強化していけば、  
 より活躍の場を増やし・広げていけそうである。



# ライブ研修：我がまちのつながり妄想イメージワークシート②

A

つながりが弱い・ない

誰(どこ)と	気付いたこと	つながることで実現できそうなこと

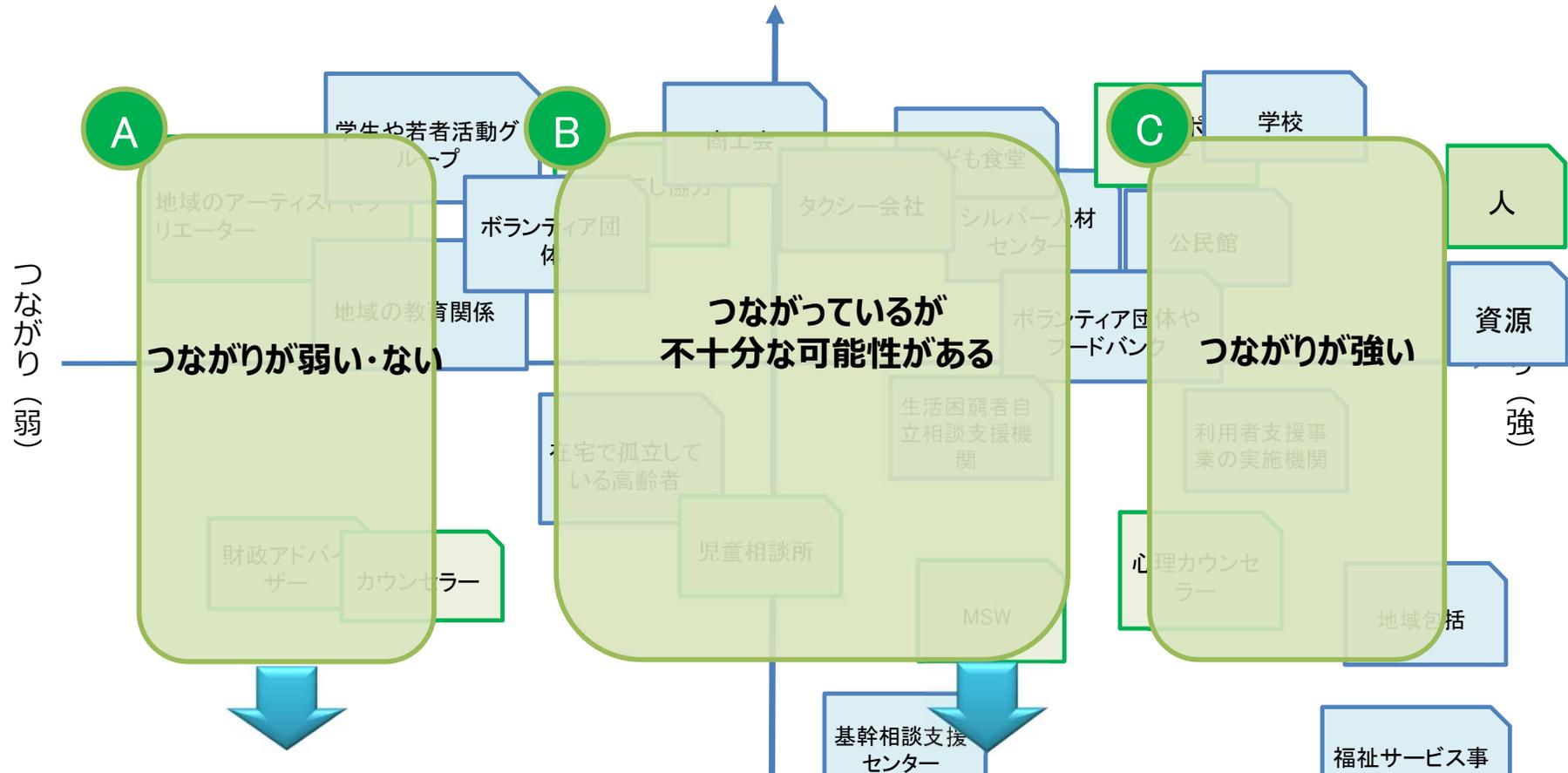
B

つながっているが不十分な可能性がある

誰(どこ)と	気付いたこと	つながることで実現できそうなこと

## ～必要な出会いとつながることで可能性が広がることのイメージ～

個人や地域の可能性を  
広げるための人・資源



Aに対してできそうなことを検討

例) つながりが弱い・ない対象に対して、他の分野の強み等も踏まえてどのようにつながることができるか検討する

Bに対してできそうなことを検討

例) 高齢分野だけの視点ではなく、他の分野の視点も踏まえてつながりを強化するための方法を検討する

～必要な出会いとつながることで可能性を広げるために必要な情報と重なり合い～

## < 我がまちのつながり妄想イメージ（多分野とつながるための情報共有） >

我がまちのつながるための手立て	
A：つながりが弱い・ない	
B：つながっているが 不十分な可能性がある	

担当部局	高齢者	生活困窮	子ども・子育て	障害	その他
多分野とつながる ために使える資源 (人・モノ)					
既存の取組					
各分野に対する印象 (他課からどう見 られているのか)					
つながるための 課題					